

3/19(土)	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	会場F	会場G	会場H
	389	388	384	386	176	185	181	387
受付開始 9:00~9:50	南館入り口							
9:50 ~ 10:20	1 藤原智也 (愛知県立大学 教育福祉学部) 美術科教育学は成立したか？	田中直子 (宗教法人 醍醐寺) 地域連携における醍醐寺蔵重要文化財の公開について —中学生を対象とした鑑賞授業の報告Ⅱ—	新井 馨 (大阪教育大学大学院) 「美術」の構造とアール・ブリュット概念の再考	西園政史 (聖徳大学) 擬態語を用いた授業実践についての一考察	竹内晋平・芦田風馬 (奈良教育大学・奈良教育大学 非常勤講師) 粘土の造形活動における幼児の見える発話Ⅱ — その発生機序に関する検討を中心に —	照沼晃子 (関東学院大学教育学部 発達学) アトリエのある乳幼児保育の場から	永守基樹 (和歌山大学) [絵画・以降]の時代に構想する マティスへと向かう絵画教育	
10:25 ~ 10:55	2 安斎勇樹 (東京大学大学院 情報学環) 視覚障害者との対話を通じた美術作品鑑賞の実践	江田希 (富山大学人間発達科学部 附属小学校) 造形教育におけるデカルコマニーの意義	井上昌樹 (前橋市立木瀬中学校) アートとサイエンスの融合による創造性を育む協同的学びの研究	鬼澤玲奈 (茨木大学大学院教育学研究科) 仏像鑑賞教育方法の体系化の構想 —興福寺阿修羅像の鑑賞授業実践の分析から—	芦田風馬 (奈良教育大学 非常勤講師) 図画工作科におけるのこぎりびきの習得に関する調査 —オノマトペを使用した指導の実践—	岡崎 あかね (大阪府立寝屋川支援学校) 材料・色・形・イメージなどの相互関係性が 生まれてくることを目ざした造形教育	鷹木 朗 (京都造形芸術大学) [絵画・以降]の時代に構想する モンドリアンとマティスの題材化 — 絵画の時間・学びの時間 —	
11:00 ~ 11:30	3 後藤保紀 (小平市立小平第十小学校) 北多摩地区の連携授業研究とその効果	高橋文子 (水戸市立双葉台小学校) 記憶による描く鑑賞活動 - 双葉台小学校クローキータムの実践 -	隅 敦 (富山大学人間発達科学部) 教科学習に対する若手教員の授業力向上に資する基礎的研究 —初任2年目の段階における実技教科指導の実践—	蝦名敦子 (弘前大学教育学部) 児童のアート空間把握—造形遊びの材料との関わりから—	鈴木紗代 (前橋市立第六中学校) インクルーシブ教育の考えを基にした 図工美術教育における映像メディア表現の実践的研究 —イメージをつくりだす映像づくりを通して—	宮川紗織 (群馬大学大学院) アートプロジェクトにおける食を通じた学びの一考察 —上毛電鉄ごちそうアートレインの事例を基に—	湯川雅紀 (沼津学園和歌山小学校) [絵画・以降]の時代に構想する マティス“JAZZ”の題材化 —図画工作教育におけるマティス流カラーの可能性—	

12:45 ~ 13:15	4 網谷夏実 (富山大学) スペインと日本の初等美術教育の比較(4) —初等美術教科書の作家作品に関する分析を中心として—	有田洋子 (島根大学) 美術教育学の制度的基盤の成立過程 —九州地方—	喜多村徹雄 (群馬大学教育学部) 手塚千尋 (東京福祉大学短期大学部) 深須砂里 (群馬大学大学院) 塩川兵 フラットホーム@中之条ビエンナーレ2015 —群大美術+同特別支援学校×アーティストによるアートカフェとワークショップの実践—	西井恵美子 (和歌山大学大学院・和歌山市立雄湊小学校) 造形遊びの再定義のために	浅野卓司 (桜花学園大学教育学部 教育学科) (研究協力者) 中山有希 他教科の単元と図画工作科の題材接続によるアクティブ・ラーニングの試みについての研究(1)	大島賢一 (信州大学) 長野県的美術教育と石井鶴三 —長野県教育史上の石井鶴三の意味について—	南 洋平 (和歌山県立粉河高等学校) [絵画・以降]の時代に構想する マティス絵画の題材化 —マティスの「ダンス」「音楽」をモデルとする絵画表現から—	ワークショップ 岩野勝人 ○○○○○ ○○○○○ * 時間中の出入りは自由となっております
13:20 ~ 13:50	5 山口喜雄 (宇都宮大学) 変化する社会と美術教科書の動向	萩生田 伸子 小澤基弘 荒田真弥 (埼玉大学 教育学部) 八析 健 有原 穂波 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科) 小学校の朝活動における描画(スケッチ)に関する研究Ⅲ	金子一夫 (茨城大学教育学部) 美術教育学再考	塙 典子 (東京都立橋高等学校) 浅野恵治 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科) アニメーション制作におけるデジタル教科書の有用性	田端智美 (桜花学園大学) 放課後子供教室における造形を介した遊びに関する考察	三浦 乃 (鹿児島大学教育学部 附属教育実践総合センター) 粘土を用いた幼児の造形活動の発達に関する研究	保富仁之 (和歌山県立立田高等学校) [絵画・以降]の時代に構想する マティスの“装飾的室内”絵画の題材化	
13:55 ~ 14:25	6 片口直樹 金子一夫 (茨城大学教育学部) 沈黙交易・贈与交換の概念による美術教育実践の解釈と構想 —特別支援学校と大学生の交流事例の分析を踏まえて—	菟浦澤 侑 (埼玉県立近代美術館) 荒田真弥 深澤悠里亜 (埼玉大学大学院教育学研究科) 自主的な学びを興す鑑賞ワークショップの研究	山本敏子 (徳島市八万南小学校) 墨の美に触れる実践研究 ~ 鑑賞及び表現の活動を通して ~	Pastor Matamoros Sofia (富山大学人間発達科学部 教育学科) 「文化としての美術を学ぶ」プロジェクト ~スペインの芸術鑑賞の方法を用いた実践から~	笹原浩仁 (福岡教育大学) 食用色素(食紅)の彩色材料としての可能性とその展開・教育実践	深須砂里 (群馬大学大学院) 「試行錯誤」する時間の価値 —彫刻家の仕事を手掛かりにし—	光山明 (筑波大学院) 小中連携による美術教育の研究 —古河市における質問紙調査を中心に—	
14:30 ~ 15:00	7 牧野由理 (城西国際大学) 明治期におけるドイツの図画教具の受容	箕輪佳奈恵 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士後期課程芸術専攻) 開発途上国における草創期の美術教育 —モルディブの1984年カリキュラムをめぐる史的展開—	手塚千尋 (東京福祉大学短期大学部 教育学科) 美術(アート)の協同的創造によるカリキュラム開発Ⅰ —協同的問題解決スキル同定のための基礎研究—	中川知子 (茨城県つくば市立豊里中学校) 美術科授業における資料映像のBGM的利用について	谷口幹也 (九州女子大学) 転換期日本の美術教育を構想するための基礎的考察 —戦後美術教育とアートする力—	本間美里 (港区立御成門小学校) 松本健義 (上越教育大学) 美術館での対話による鑑賞活動における経験・語り・知覚の生成過程について		
15:15 ~ 17:15	基調講演 「共感社会の進化と美的表現の起源」 山極壽一(京都大学総長) 於:北館三階 プラムホール							
17:30 ~ 20:00	懇親会 於:図書館棟一階 ラ・サンティエ							